

事務事業名		記者会見開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目	
	施策名	34 市民参画と協働の推進					
	基本事業名	01 行政の透明性確保と市政への意見の反映					
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 款 項 目 事業	
所属	部課名	企画政策部秘書広聴課					
	課長名	金野好伸					
	係名	広報広聴係	電話 0192-27-3111				
	担当者	遠藤貴之	内線 210				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
報道機関に対し、行政情報を提供し、情報の共有化を図るため、記者会見を開催する。 ○原則として定例記者会見を月2回開催している。 ○対象:大船渡記者クラブ ○記者会見項目については、各部課からの提出による。 主たる業務は、①開催日時の決定と記者クラブや庁内各部署への周知②会見項目提出に係る庁内各部署への連絡及び掘り起こし③会見内容の精査④会見⑤会見終了後の諸事務(欠席会員への資料送付、ホームページ掲載)等				総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td>会見項目数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	開催回数	回	イ	会見項目数	件	ウ		
名称		単位											
ア	開催回数	回											
イ	会見項目数	件											
ウ													
今年度計画(今年度に計画している主な活動)													
前年度と同様													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
大船渡記者クラブ	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>大船渡記者クラブ</td><td>社</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	大船渡記者クラブ	社	キ			ク		
名称		単位											
カ	大船渡記者クラブ	社											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
行政情報の共有化を図る。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>出席率</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	出席率	%	シ			ス		
名称		単位											
サ	出席率	%											
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)													
情報の共有化が図られ、行政の透明性が確保される。													

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="7">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>50</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>200</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>200</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td><td>400</td> </tr> </table>		事業内訳	単位	年度							23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円							地方債	千円							その他	千円							一般財源	千円							事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	50	100	100	100	100	100	人件費計(B)	千円	200	400	400	400	400	400	トータルコスト(A)+(B)	千円	200	400	400	400	400	400
事業内訳	単位			年度																																																																																												
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																									
国庫支出金	千円																																																																																															
都道府県支出金	千円																																																																																															
地方債	千円																																																																																															
その他	千円																																																																																															
一般財源	千円																																																																																															
事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																									
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																									
延べ業務時間	時間	50	100	100	100	100	100																																																																																									
人件費計(B)	千円	200	400	400	400	400	400																																																																																									
トータルコスト(A)+(B)	千円	200	400	400	400	400	400																																																																																									
⑤活動指標	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(目標)</th><th>28年度(目標)</th></tr> <tr><td>ア</td><td>回</td><td>13</td><td>22</td><td>21</td><td>21</td><td>24</td><td>24</td></tr> <tr><td>イ</td><td>件</td><td>48</td><td>116</td><td>115</td><td>108</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	ア	回	13	22	21	21	24	24	イ	件	48	116	115	108	120	120	ウ																																																																						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																									
ア	回	13	22	21	21	24	24																																																																																									
イ	件	48	116	115	108	120	120																																																																																									
ウ																																																																																																
⑥対象指標	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(目標)</th><th>28年度(目標)</th></tr> <tr><td>カ</td><td>社</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	カ	社	11	11	11	11	11	11	キ								ク																																																																						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																									
カ	社	11	11	11	11	11	11																																																																																									
キ																																																																																																
ク																																																																																																
⑦成果指標	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(目標)</th><th>28年度(目標)</th></tr> <tr><td>サ</td><td>%</td><td>69.2</td><td>64.9</td><td>57.1</td><td>51.9</td><td>70</td><td>70</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	サ	%	69.2	64.9	57.1	51.9	70	70	シ								ス																																																																						
名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																									
サ	%	69.2	64.9	57.1	51.9	70	70																																																																																									
シ																																																																																																
ス																																																																																																

事務事業ID	0364	事務事業名	記者会見開催事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	従前より、必要に応じ会見を開催していたが、平成7年から定例的に開催している。 当初月1回の開催であったが、平成11年からは月2回を原則としている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	行政情報を積極的に知ろうとする市民ニーズが高まっている。 行政の市民に対する説明責任の重要性が増している。 協働のまちづくりのため、課題を共有する必要性や行政情報を、積極的に情報発信する必要性が増している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 行政情報等が周知されることにより、行政の透明性の確保や市民参加が図られ、市政の推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 正確な行政情報を報道機関に提供すること、また、会見を通じ、直接取材に応じることが可能な環境となっており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 現記者クラブは、当市域における報道機関として十分な加入となっており、また、会員以外の報道機関を排除するものでもなく、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 情報の分析や考察等を加えたり、よりタイムリーな情報を提供するなど、会見項目の内容を充実、検討する余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 報道機関に対し、適時適切な情報の提供ができず、報道を通じての市民への情報提供も偏ることとなり、市民参加の市政推進が図られない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他と統廃合、連携すべき事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費はないため、該当しない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 政策的な協議・調整等が中心事務であり、削減は困難である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 報道機関、ひいては市民に行政情報を提供し、情報の共有化を図っていく目的であり、妥当である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>行政の透明性、説明責任及び市民参加の市政を推進するにあたり、重要な事務事業である。 有効性をより向上させるよう内容等を検討していく必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>行事等のお知らせ的な会見項目が多いことから、さらに行政情報の分析や考察を加えるなど、またタイムリーな情報を提供することにより、ニュースバリューを高め、より報道機関にとって魅力的な会見となるよう改善の余地がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>記者会見を通じての適時適切な情報の提供、あるいは行政内容を理解してもらうという意識を、より高める必要がある。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	秘書広聴課	金野好伸
-------	-------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>復興に係る会見項目数が増えているが、依然として定例的な行事等のお知らせに係る会見項目も多い。今後とも、項目内容の見直しやさらなる掘り起こしが求められる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>報道機関に行政情報を提供し、広く情報共有を図るためには、復興に係るさまざまな情報を適時適切に発信するとともに、事務事業の実施状況や各種調査等の分析結果等、より積極的な行政情報の提供、項目の掘り起こしについて、全庁的な取り組みに努めることとする。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
